

平成21年2月10日

**平成21年度グローバルCOEプログラム
外国人レフェリー用拠点形成計画調書 Q & A**

【全般】

- 問1. 外国人研究者等によるレフェリーの意見を聴くとのことだが、その場合、どのような観点から意見を聴くのか。
- 問2. 原則として10ページ以内とのことだが、1ページ目も含めて10ページ以内か。
- 問3. 文字のサイズ、フォントは12.0 point, Times New Roman とのことだが、調整することは可能か。
- 問4. 項目のページ移動は可能か。
- 問5. 改組、新設、着任、異動等で中核となる専攻等名、所属部局、職名等が平成21年2月1日現在のものから変更された場合、どのように記入すべきか。
- 問6. 調書の提出依頼は、いつ頃になされる予定か。
- 問7. 調書の提出はメールによるとのことだが、CD-R(W)を郵送、持参することは可能か。

【1ページ目】

- 問8. 整理番号は、ヒアリング対象拠点のみに、新たに番号を付して記入するのか。
- 問9. プログラムの名称は新たに付けるのか。また、別に副題を添えることは可能か。
- 問10. 研究分野及びキーワードに記入する「科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表」の英語訳はあるか。
- 問11. 複数の専攻等で構成される場合、専攻等名には全ての専攻を記入する必要があるか。
- 問12. 「専攻等名」の欄に、21世紀COEプログラムにおいて、採択されている拠点（専攻等）名または連携先機関名を記入する必要があるか。
- 問13. 「申請経費」欄には連携先に配分予定の経費も含めるのか。また、連携先で使用する金額が申請金額全体に占める割合を記入する必要があるか。

【2ページ目以降】

- 問14. 様式各項目の説明文は残しておく必要があるか。
- 問15. 調書にカラーで記入してよいか。また、図表を使用してもよいか。
- 問16. 21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点（専攻等）で、これまでの活動をベースに今回の申請プログラムが計画されている場合には、21世紀COEプログラムの成果として記載する必要があるのか。
- 問17. 学術研究論文、学術研究著書について1研究者について5件以内に限るとのことだが、共著者に複数の事業推進担当者が含まれる場合、どのようにカウントするのか。
- 問18. 調書に記載する内容は、和文の調書に記載した内容をそのまま英訳して記載することとなるのか。

【全般】

問1. 外国人研究者等によるレフェリーの意見を聴くとのことだが、その場合、どのような観点から意見を聴くのか。

(答)

本プログラムの審査に当たっては、国際競争力を審査・評価するという観点から、研究活動の水準について、外国人研究者等によるレフェリーの意見を聴くこととしております。

問2. 原則として10ページ以内とのことだが、1ページ目も含めて10ページ以内か。

(答)

1ページ目も含めて、原則として10ページ以内としてください。

問3. 文字のサイズ、フォントは12.0 point, Times New Romanとのことだが、調整することは可能か。

(答)

必要に応じて調整しても構いませんが、必要最小限としてください。なお、図表等に含まれる文字はこれによりません。

問4. 項目のページ移動は可能か。

(答)

1ページ目については、項目のページ移動はできません。2ページ目以降については、項目ごとの説明文の後に挿入して記入し、適宜ページを移動させてください。

問5. 改組、新設、着任、異動等で中核となる専攻等名、所属部局、職名等が平成21年2月1日現在のものから変更された場合、どのように記入すべきか。

(答)

和文の調書と同様に、平成21年2月1日現在のもを記入し、()書きで、変更後の名称、変更年月日を記入してください。

問6. 調書の提出依頼は、いつ頃になされる予定か。

(答)

3月末から4月上旬にかけて、ヒアリング対象拠点を選定し、ヒアリングの対象となった拠点に対し、「拠点形成計画調書(外国人レフェリー用)」の提出依頼を行う予定です。

調書提出の締め切りは、分野ごとの提出依頼日後、2,3日後を予定しておりますので、事前の準備をお願いします。調書はPDFファイルにて保存し、各大学でとりまとめの上、メールに添付しお送りください。

なお、調書作成に当たっては、本会ホームページに掲載しております、「外国人レフェリー用拠点形成計画調書 作成要領」により作成してください。

また、ヒアリング審査の日程については、本会ホームページ(http://www.jsps.go.jp/j-globalcoe/01_gaiyo_shinsa.html)を参照してください。

問7. 調書の提出はメールによるとのことだが、CD-R(W)等を郵送、持参することは可能か。

(答)

短期間でのメールレビューを予定しているため、調書の提出はメールによってのみ受け付けをします。CD-R(W)等をご郵送又はご持参していただくことはできません。

【1 ページ目】

問8. 整理番号は、ヒアリング対象となった拠点のみに、新たに番号を付して記入するのか。

(答)

ヒアリング対象拠点の通知の際に、本会事務局で付した分野別整理番号を記入してください。

問9. プログラムの名称は新たに付けるのか。また、別に副題を添えることは可能か。

(答)

1. 和文の拠点形成計画調書の概要に記入した、拠点のプログラム名称の英訳名をそのまま記入してください。
2. 副題を添えることは可能です。

問10. 研究分野及びキーワードに記入する「科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表」の英語訳はあるか。

(答)

平成21年度科学研究費補助金「公募要領・研究計画調書等のダウンロードページ」の「系・分野・分科・細目表 (http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/koubo_yoryo/21yoryo3_e.pdf)」及び「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧 (http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/koubo_yoryo/21yoryo4_e.pdf) をご参照の上、和文の拠点形成計画調書に記入した研究分野及びキーワードを、各大学において適切に英訳して記入してください。

問11. 複数の専攻等で構成される場合、専攻等名には全ての専攻を記入する必要があるか。

(答)

全ての専攻等名の名称を記入し、そのうち中核となる専攻等に下線を引いてください。

問12. 「専攻等名」の欄に、21世紀COEプログラムにおいて、採択されている拠点（専攻等）名または連携先機関名を記入する必要があるか。

(答)

記入していただく必要はありません。

問13. 「申請経費」欄には連携先に配分予定の経費も含めるのか。また、連携先で使用する金額が申請金額全体に占める割合を記入する必要があるか。

(答)

1. 連携先に配分予定の経費も含め、事業全体にかかる経費を記入してください。
2. また、その割合を記入していただく必要はありません。

【2 ページ目以降】

問14. 様式各項目の説明文は残しておく必要があるか。

(答)

括弧書きも含めて、説明文は必ず残してください。削除された場合、その後の審査に支障をきたすことがあります。

問15. 調書にカラーで記入してよいか。また、図表を使用してもよいか。

(答)

カラー、図表ともに使用可能ですが、メールの送受信に支障の無いようにご注意ください。なお、ファイルサイズについては、1MB以内が推奨されます。

問16. 21世紀COEプログラムにおいて採択されている拠点（専攻等）で、これまでの活動をベースに今回の申請プログラムが計画されている場合には、21世紀COEプログラムの成果として記載する必要があるのか。

(答)

21世紀COEプログラムの成果という位置づけではなく、これまでの研究活動の実績として、外国人レフェリーにとっても分かりやすい内容で記入してください。

問17. 学術研究論文、学術研究著書について1研究者について5件以内に限るとのことだが、共著者に複数の事業推進担当者が含まれる場合、どのようにカウントするのか。

(答)

当該事業推進担当者が主体的に関与している、代表的な研究論文をカウントしてください。なお、別の事業推進担当者の代表的な研究論文に、共著者として名前を連ねているような場合は、必ずしもカウントする必要はありません。

問18. 調書に記載する内容は、和文の調書に記載した内容をそのまま英訳して記載することとなるのか。

(答)

原則として、和文の調書に記載された実績の中から、国際的にアピールできる研究実績を抽出して記載してください。ただし、外国人レフェリーに分かりやすく示すという視点から、内容を補足することや、和文調書の提出時から、新たな知見等があった場合には、それらを加味することは妨げません。